



目次

全身疾患やストレスによるリスクは回避できる！

臨床医のための

歯科麻酔テクニック & 全身管理の秘訣

prologue 来院患者の変化にご用心！

- 1 安全で快適な歯科医療環境が求められている時代
- 2 偶発症はいつも歯科臨床と背中合わせ

chapter 1 治療前に患者さんのリスクは回避できる！

リスク回避のための2大ポイント

- 1 危ない疾患① 循環器疾患のリスクを回避する
 - 1-1 高血圧の場合
 - 1-2 虚血性心疾患の既往がある場合
- 2 危ない疾患② 脳血管疾患のリスクを回避する
 - 2-1 脳梗塞の既往がある場合
- 3 危ない疾患③ 呼吸器疾患のリスクを回避する
 - 3-1 気管支喘息がある場合
 - 3-2 アスピリン喘息がある場合
 - 3-3 COPD (慢性閉塞性肺疾患) に罹患している場合
- 4 バイタルサインを常にモニタリングすることの重要性
 - 4-1 モニタリングで患者さんの表情や呼吸の変化をいち早く察知しよう！
 - 4-2 生体モニターを活用して、患者さんの安全を確保する
- 5 正確なモニタリングのためのテクニックと情報の活かし方
 - 5-1 血圧計の使い方と活かし方
 - 5-2 パルスオキシメーターの使い方と活かし方
 - 5-3 心電図の使い方と活かし方
- 6 必要に応じて医科歯科連携を積極的に行おう
 - 6-1 健康調査票 (問診票) を活用しよう
 - 6-2 医科との診療情報提供書のやり取りを積極的に行おう

- 2-2 問診で確認しておきたいこと
- 2-3 歯科治療時の重要事項
- 3 ここをチェック！ 糖尿病
 - 3-1 まずは基本知識から
 - 3-2 問診で確認しておきたいこと
 - 3-3 歯科治療時の重要事項
- 4 ここをチェック！ 脳血管障害 (脳卒中)
 - 4-1 まずは基本知識から
 - 4-2 問診で確認しておきたいこと
 - 4-3 歯科治療時の重要事項
- 5 ここをチェック！ 妊婦・授乳婦
 - 5-1 まずは基本知識から
 - 5-2 問診で確認しておきたいこと
 - 5-3 歯科治療時の重要事項

chapter 4 偶発症に遭遇！パニックカードがあれば安心

- 1 緊急時もこれで安心！「パニックカード」活用のススメ
 - 1-1 パニックカードの見方・使い方
- 2 漫画で学ぶ緊急時対応のツボ
 - 2-1 過換気症候群：わかっておきたい重要ポイント
 - 2-2 アナフィラキシー：わかっておきたい重要ポイント
 - 2-3 血管迷走神経反射：わかっておきたい重要ポイント
- 3 緊急時に使用する機材、薬剤を確認しよう！
 - 3-1 各種薬品の使用方法
- 4 「蘇生ガイドライン2020」の考え方と臨床応用
 - 4-1 患者の評価法
 - 4-2 一次救命処置の手順
 - 4-3 電気ショックの適応：その重要事項
 - 4-4 AEDの使用上の注意事項
 - 4-5 AHA BLS ガイドライン 2020 の変更点を知っておこう
 - 4-6 デンタルチェア上での心肺蘇生の重要事項
 - 4-7 救急薬品

chapter 5 歯科麻酔科医との連携でもっと活用したい 静脈内鎮静法

- 1 精神鎮静法 (吸入鎮静法、静脈内鎮静法) と全身麻酔法
 - 1-1 精神鎮静法
 - 1-2 全身麻酔法
- 2 静脈内鎮静法の利点と適応症
 - 2-1 静脈内鎮静法の利点
 - 2-2 静脈内鎮静法の適応症と禁忌症
- 3 歯科麻酔科医との連携に必要な歯科医院側の準備
 - 3-1 静脈内鎮静法のために準備するもの
- 4 歯科麻酔科医からのお願い：アシスタントワークの重要ポイント
 - 4-1 術前・術後の情報共有が重要
 - 4-2 静脈内鎮静法時のアシスタントワーク：4つの重要事項
- 5 静脈内鎮静法：よくある現場でのDO & DON'T
 - 5-1 静脈内鎮静法をスムーズに実践するために

epilogue 歯科麻酔科医グループのCDACが歯科医院での安全なインプラント治療をサポートします

chapter 2 安全、安心、痛くない局所麻酔のノウハウとテクニック

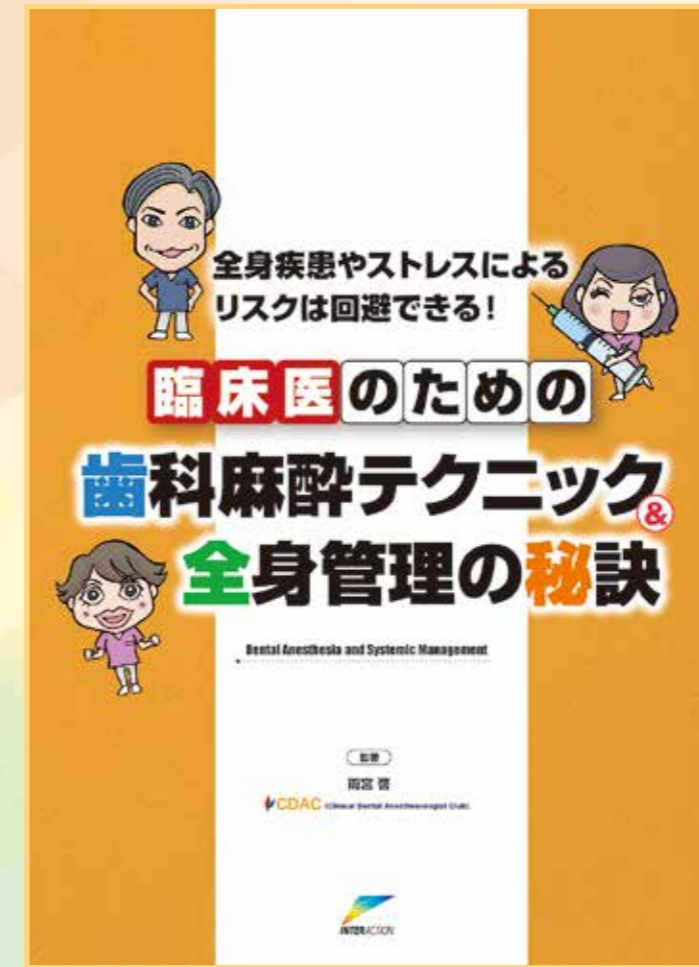
- 1 適切な局所麻酔薬の選択法
 - 1-1 最強の局所麻酔薬「リドカイン+アドレナリン製剤」をどう使うか
 - 1-2 局所麻酔薬の製剤は何本まで使える？
 - 1-3 循環器系疾患患者に活用したいアドレナリン倍希釈局所麻酔薬
- 2 痛みを与えない局所麻酔のポイントとテクニック
 - 2-1 局所麻酔を効かせるための3つの考慮事項
 - 2-2 局所解剖と神経の走行を理解しよう
- 3 浸潤麻酔の使い分けとテクニック
 - 3-1 浸潤麻酔をうまく効かせるための4つの注意事項
 - 3-2 各種浸潤麻酔法の勘所
 - 3-3 活用したい歯間乳頭麻酔のテクニック
- 4 下顎孔伝達麻酔の効果的な活用ポイントとテクニック
 - 4-1 下顎孔伝達麻酔を効かせるために必要な知識

chapter 3 口だけでなく身体も診よう！安全対策に活かす 疾患別治療時の注意点

- 1 ここをチェック！ 高血圧症
 - 1-1 まずは基本知識から
 - 1-2 問診で確認しておきたいこと
 - 1-3 歯科治療時の重要事項
- 2 ここをチェック！ 虚血性心疾患
 - 2-1 まずは基本知識から

注文票		
品名	税込価格	冊数
全身疾患やストレスによるリスクは回避できる！ 臨床医のための 歯科麻酔テクニック&全身管理の秘訣	9,900円	

インターアクション株式会社
 東京都武蔵野市境南町 2-13-1-202
 TEL 070-6563-4151 FAX 042-290-2927
<http://interaction.jp>



「これを知らないと・・・、これをやっておかないと危険・・・」

来院患者さんの「全身的リスク回避」が、欠かせない時代だからこそ生まれた書籍です。

全身疾患やストレスによるリスクは回避できる！

臨床医のための

歯科麻酔テクニック & 全身管理の秘訣

リスク回避のために、本書で

- 歯科医師、歯科衛生士、歯科助手などのチームで知識を共有できる
- 臨床で本当に必要な知識の整理と、具体的な対策が臨床直結で読める
- インプラント手術など全身管理が必要な時の歯科麻酔科医との身近な連携ができる

著：雨宮 啓、CDAC (Clinical Dental Anesthesiologist Club)
 サイズ：A4判
 ページ数：208ページ
 定価：9,900円(税込)

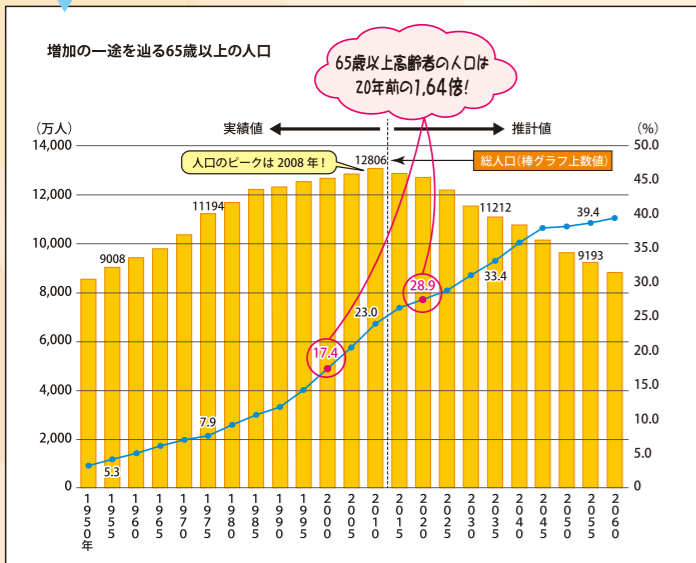


CDACとは 全国の臨床現場で活躍する日本歯科麻酔学会認定医・専門医が所属する日本初のグループ。静脈内鎮静法を始めとする歯科麻酔学に関する正しい技術を普及させる活動を行うとともに、開業医の先生方とのチーム医療に取り組んでいる。

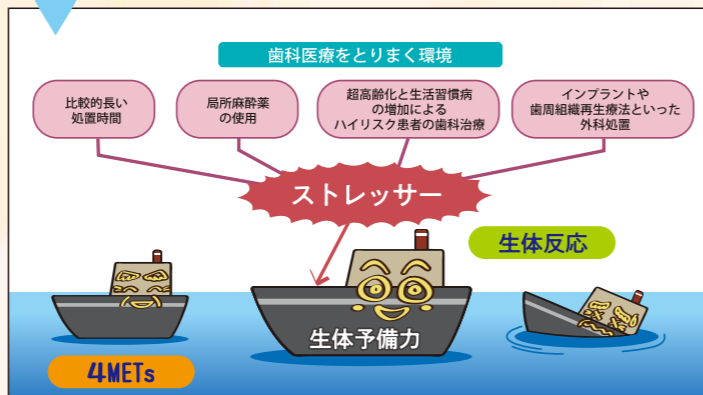
歯科医療環境の変化が大きい今だからこそ、“患者さんの安全確保”に必要な情報を1冊にまとめました!

Q なぜ、患者さんのストレス・全身的リスク管理が以前より重要になっているの?

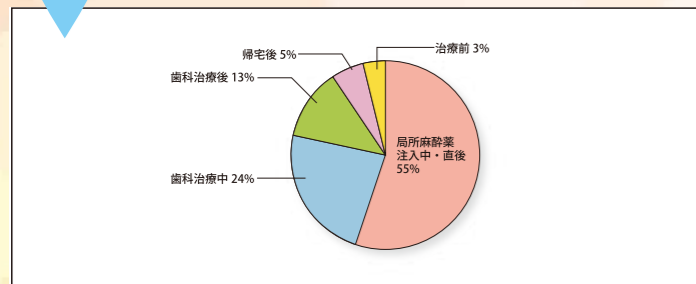
理由 1 全身的配慮が必要な65歳以上の高齢者は20年前の1.64倍



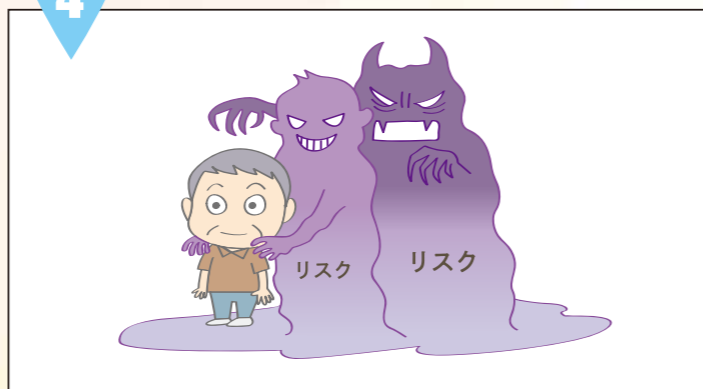
理由 2 高齢者や生活習慣病を持つハイリスク患者、インプラント手術や再生療法などの外科処置によるストレスの増加



理由 3 アナフィラキシーなどの偶発症の55%は、局所麻酔中、もしくは直後に起きる



理由 4 全世代共通、いつ起きても不思議ではない! 血管迷走神経反射やアレルギー反応を無視できない!



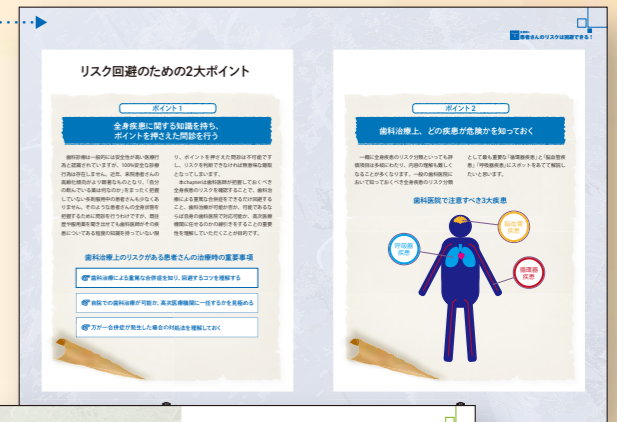
A 備えあれば憂いなし! 本書を自院の対策作りに役立てよう!

新進気鋭の歯科麻酔科医グループ **CDAC** が、今の歯科医院に欠かせない知識と対策についてわかりやすく、ポイントをおさえて解説します。



chapter 1 治療前に患者さんのリスクは回避できる!

リスク回避のための2大ポイントに基づく解説が読める!



chapter 2 安全、安心。痛くない局所麻酔のノウハウとテクニック

患者さんに応じてストレスを少なく、かつ局所麻酔をしっかり効かせるためのノウハウ満載!



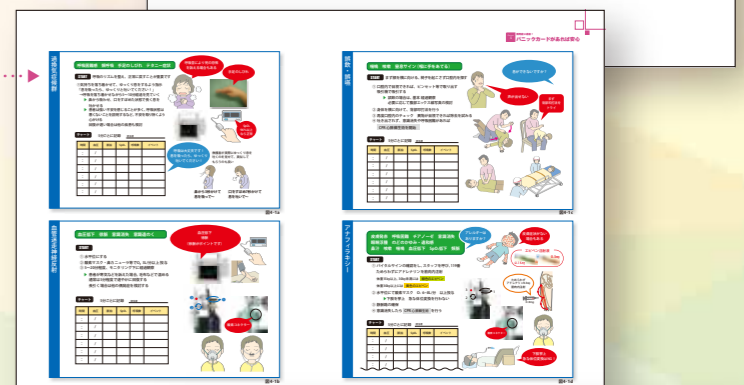
chapter 3 口だけでなく身体も診よう! 安全対策に活かす疾患別治療時の注意点

高血圧、虚血性心疾患、糖尿病、脳血管障害(脳卒中)患者、妊婦・授乳婦の診方が
①基本知識 ②問診で確認しておきたいこと ③歯科治療時の重要事項の3つの角度から読める・わかる!



chapter 4 偶発症に遭遇! パニックカードがあれば安心

万が一、偶発症が起きても、慌てず対処できる方法を伝授



chapter 5 歯科麻酔科医との連携でもっと活用したい静脈内鎮静法

精神鎮静法の基本知識はもとより、歯科麻酔科医と連携するために必要な準備や手術当日のアシスタントワークのノウハウなど実践的に解説

